

一般社団法人レギュラトリーサイエンス学会 社員(評議員)選挙 立候補者一覧(五十音順)

No	氏名	所属	立候補所信
1	荒川 義弘	筑波大学 医学医療系 教授	(記載無し)
2	乾 直輝	浜松医科大学臨床薬理学講座	医療の進歩には有効な医薬品や医療機器の開発が必須です。私は臨床薬理学の専門家として、アカデミアで医薬品開発や臨床研究の適切な実施に向けての取り組みを行ってきました。本学会には産学官のさらなる取り組みが必要と考え、入会させていただいております。今後は評議員として本学会にお活動に微力ながら貢献したい所存です。
3	今枝 孝行	日本製薬工業協会(ファイザーR&D合同会社)	前回に引き続き、今回の社員に立候補したいと思います。レギュラトリーサイエンスの進化と発展は私のライフワークであり、学会の発展にも貢献していきたいと思っております。
4	柏谷 祐司	日本製薬工業協会薬事委員会(武田薬品工業株式会社)	(記載無し)
5	諫田 泰成	国立医薬品食品衛生研究所	国立医薬品食品衛生研究所において、ヒト iPS 細胞技術、動物実験代替法、AI・機械学習などに関するレギュラトリーサイエンス研究に従事しております。特に、最新の科学技術(New Approach Methodologies)を用いて産官学連携のもと国際動向を踏まえながら試験法を開発することにより、より安全でより有効な医薬品を一刻も早く社会に迅速かつ的確に還元することに貢献したいと考えております。微力ではございますが、レギュラトリーサイエンス学会に協力させて頂きたく立候補いたします。何卒よろしくお願い申し上げます。
6	近藤 昌夫	大阪大学 薬学研究科 医薬品・医療機器規制科学分野	先生方にご指導頂きながら、レギュラトリーサイエンスに通じた人材育成等を通じて学会活動に貢献できるよう、最善を尽くす所存でございます。
7	齋藤 充生	ヘルスヴィジランス研究会	これまでレギュラトリーサイエンスの実践、研究を行ってきました。学会の発展のため、微力を尽くしたいと思います。
8	斎藤 嘉朗	国立医薬品食品衛生研究所 副所長	国立衛研入所時に、当時の内山副所長より、レギュラトリーサイエンスの哲学をご教示いただきました。長年、医薬品の副作用、民族差、バイオマーカー等に関し、ウェットとドライの両面から研究を行って参りましたが、本学会としてもこの両面の融合に基づく、行政施策の方向性提案が重要と考えております。また産学官の意見交換の場として本学会は重要であり、本学会の興隆に微力ながら貢献致したく、立候補させていただきました。
9	佐藤 光利	明治薬科大学	医薬品の安全性や品質保証に関するレギュレーションならびにレギュラトリーサイエンスの普及と発展に寄与する。 1 ページ

10	下川 昌文	公立大学法人 山陽小野田市立山口理科大学薬学部	レギュラトリーサイエンスの発展に貢献できるようがんばります。
11	菅谷 勉	ファルマービズ・マネジмент・イニシアティブ	アカデミア発バイオ・ヘルスケアベンチャー協会事務局を担っており、スタートアップ、ベンチャーの視点からレギュラトリーサイエンスを考えたい。
12	鈴木 啓介	国立長寿医療研究センター 先端医療開発推進センター	認知症や神経難病の治験や臨床研究に関与してきた経験を活かして、本邦におけるレギュラトリーサイエンスの発展に寄与できればと考えております。どうぞ宜しくお願いいたします。
13	鈴木 睦	日本製薬工業協会 医薬品評価委員会(協和キリン)	(記載無し)
14	田邊 思帆里	国立医薬品食品衛生研究所	レギュラトリーサイエンスの推進に貢献していきたいと思っております。どうぞよろしくお願い致します。
15	田村 学	東京女子医科大学・早稲田大学共同大学院 共同先端生命医学専攻	レギュラトリーサイエンス研究の証である生命医学を構築するため東京女子医科大学で早稲田大学と協調し教員活動を行っております。経済産業省生物化学産業課での技官勤務経験、医薬品開発を目指す医師主導治験実施及び医工融合による医療機器開発の経験を活かし学会活動に貢献できればと考えております。臨床研究を円滑に進め社会に早期還元する議論をより深め、患者行動変容による新治療の整備にも積極的に取り組む所存です。
16	戸高 浩司	九州大学病院ARO次世代医療センター 九州大学 学術研究・産学官連携本部	臨床医・研究者・PMDA審査官OBであり橋渡し研究支援拠点統括・臨床研究中核病院AROセンター長教授としての豊富な経験を生かして、規制科学研究の推進など本学会の発展に寄与する所存です。
17	永井 純正	京都大学医学部附属病院 医療開発部	現在は京都大学橋渡し研究支援機関の拠点統括をしております。2016年より本学会の評議員を務めており、学術大会やシンポジウムでの講演等を通じて本学会に寄与して参りました。引き続き本学会に貢献していく所存です。
18	永井 尚美	武蔵野大学	レギュラトリーサイエンスの振興と学会の発展のため尽力いたします。
19	中江 大	帝京平成大学 健康医療スポーツ学部医療スポーツ学科	機会を与えていただければ、経験と専門性を活かして、一般社団法人レギュラトリーサイエンス学会の活動に貢献したいと考えます。
20	成川 衛	北里大学	レギュラトリーサイエンスの進展のために努力いたします。
21	東阪 和馬	大阪大学	レギュラトリーサイエンスの推進に貢献できるよう尽力して参ります。
22	細木 るみこ	立命館大学薬学部	微力ではございますが、レギュラトリーサイエンスの発展に努めたいと思っております。
23	前田 英紀	明治薬科大学	レギュラトリーサイエンスの推進及び普及に貢献したいと考えています。
24	益山 光一	東京薬科大学	レギュラトリーサイエンスの進展に貢献して参りたいと思っております。

25	松田 勉	興和株式会社	学会の発展のため、微力ながら尽力致します。
26	松村 一	東京医科大学 形成外科学分野	臨床医師・アカデミアの一員として、本邦でのレギュラトリーサイエンスの発展に寄与したいと考えています。学会の適切な運営に努めるとともに、会員の皆様方のご意見にも真摯に耳を傾けてまいります。宜しくお願い致します。
27	宮崎 生子	昭和薬科大学	本学会の更なる発展のため、微力ながら務めさせていただきたく存じます。
28	山田 雅信	筑波大学 つくば臨床医学研究 開発機構	レギュラトリーサイエンスの進展に貢献したいと思います。
29	渡邊 伸一	帝京平成大学	(記載無し)
30	渡邊 善照	NPO法人ジェネリック医薬品協議 会 理事長	我国のジェネリック医薬品は多くの課題を有しており、今後の産業構造の変更においてレギュラトリーサイエンスの面からも検討を深めたい。

以上